

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月26日

上場会社名 ムラキ株式会社

上場取引所 大

コード番号 7477 URL <http://www.muraki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古屋 文男

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 上中 良典

TEL 042-357-5610

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	6,939	1.5	58	—	87	—	56	57.6
23年3月期第3四半期	6,836	△5.5	△57	—	△30	—	35	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 52百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 35百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	3.84	—
23年3月期第3四半期	2.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	4,234	2,226	52.6
23年3月期	3,664	2,173	59.3

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 2,226百万円 23年3月期 2,173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,879	0.0	72	2,964.0	93	82.8	50	△53.2	3.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	14,700,000 株	23年3月期	14,700,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	924 株	23年3月期	924 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	14,699,076 株	23年3月期3Q	13,397,258 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びその他の関連する事項につきましては、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による景気の低迷から政府の財政出動による復旧・復興需要が見込まれ、回復の兆しがみられてきたものの、個人消費マインドをはじめ、内需の拡大までには至りませんでした。一方国外においては、米国経済の減退と欧州財務危機に起因する世界的景気後退懸念、及びタイの洪水被害による生産活動の停滞は急激且つ長期化の様相を見せる円高と株価の低下を誘発し、景気動向については今後も予断を許さない状況となっております。

当社グループの主力販売商品であるカーケア関連商品の販売先でありますサービスステーション（略称：SS）業界においては、一時期ほどのハイペースではないにしろ依然市場の縮小化は続いております。

当社グループはこのような環境下、顧客やユーザーの視点に立った細やかなサービスを提供すべく、平成23年11月の「秋田大館」「名古屋東」に続き12月には「小牧」と営業拠点の増設を進めました。また、11月・12月に「MURAKIプラス」の一環とした企画「よこれ一掃計画」において上期に低調であった販売促進関連用品の見直しを図り、本来無償提供していた販売促進商品に有償付加価値を高めた、ポスター・ハガキ・のぼり旗をキット化したものを、提案営業することで集客を目指すSSに対するタイムリーな対応から売上に繋げました。更に首都圏支店及び中部支店においては、それぞれの新営業拠点と事業開発部門の相乗効果活動により、新規顧客の獲得に成功し、計画以上の売上高と利益を確保するにいたりました。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間の業績は前述の積極的な営業活動が実を結び計画予算どおりに進捗した結果、売上高 6,939百万円（前年同期比 1.5%増）となりました。

収益面におきましては利益体質強化施策の効果により、売上総利益は前年同期を 17百万円上回りました。加えて販売費及び一般管理費の削減もあり、営業利益 58百万円（前年同期は営業損失 57百万円）、経常利益 87百万円（前年同期は経常損失 30百万円）、法人税等 30百万円を計上し、四半期純利益は 56百万円となりました。

なお、中長期的視野に立ち、継続的な企業成長を図るべく、平成23年度を通じて以下の方針に沿った諸施策を実行してまいります。

- ・ 既存事業の維持拡大
- ・ 新規事業の収益貢献
- ・ 高利益率への価格体系の実現
- ・ M&A及び業務提携の積極展開

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

主力事業である「カーケア関連商品販売」事業につきましては、上記要因から売上高は 6,818百万円（前年同期の売上高 6,679百万円）セグメント利益は 59百万円（前年同期はセグメント損失 50百万円）となりました。「その他」につきましては、売上高は 229百万円（前年同期の売上高は 251百万円）セグメント損失は 3百万円（前年同期のセグメント損失 11百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は 4,234百万円（前連結会計年度末比 569百万円増）うち純資産は 2,226百万円（前連結会計年度末比 52百万円増）となりました。

資産の部における項目増減は、流動資産 485百万円の増加、固定資産 84百万円の増加となりました。主な原因は次のとおりです。流動資産は、現金及び預金の増加 257百万円、売掛債権の増加 326百万円、商品在庫の減少 85百万円。固定資産は、建物及び構築物の減少 8百万円、無形固定資産のその他によるもの 90百万円の増加、投資等の増加 7百万円等によるものです。

負債については、流動負債の増加 347百万円、固定負債の増加 170百万円で、流動負債の増加内訳は、仕入債務の増加 185百万円、短期借入金の増加 16百万円、1年内償還予定の社債の増加 33百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加 99百万円、その他の流動負債の増加 10百万円。固定負債は、長期借入金の増加 100百万円、社債の増加 67百万円、役員退職給付引当金の増加 6百万円等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、257百万円増加し、922百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は 52百万円です。これは主要因として税金等調整前四半期純利益 86百万円、売上債権の増加額 331百万円、棚卸資産の減少額 85百万円、仕入債務の増加額 188百万円、未払消費税の増加額 21百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は 108百万円です。これは主要因として無形固定資産の取得による支出 92百万円、保険積立金の支払いによる支出 18百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は 314百万円です。これは主要因として短期借入金の純増額 16百万円、長期借入金の借入による収入 250百万円、長期借入金の返済による支出 50百万円、社債発行収入 98百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点におきまして、平成24年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成23年10月27日に公表した予想数値に変更はございません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関しての必要が生じたならば、速やかに開示してまいります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(減価償却費)

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	687,032	944,725
受取手形及び売掛金	985,180	1,311,521
商品及び製品	777,806	692,041
その他	105,795	92,105
貸倒引当金	△1,761	△984
流動資産合計	2,554,053	3,039,409
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	775,486	775,486
減価償却累計額	△652,103	△660,414
建物及び構築物(純額)	123,382	115,072
機械装置及び運搬具	34,936	33,047
減価償却累計額	△24,711	△25,530
機械装置及び運搬具(純額)	10,225	7,517
土地	438,325	438,325
リース資産	2,875	2,875
減価償却累計額	△1,006	△1,437
リース資産(純額)	1,868	1,437
その他	154,202	155,359
減価償却累計額	△141,232	△144,282
その他(純額)	12,969	11,077
有形固定資産合計	586,772	573,429
無形固定資産		
無形固定資産	32,134	122,289
投資その他の資産		
投資有価証券	48,066	44,057
差入保証金	404,966	399,196
その他	55,513	72,799
貸倒引当金	△16,936	△16,925
投資その他の資産合計	491,609	499,128
固定資産合計	1,110,516	1,194,847
資産合計	3,664,569	4,234,256

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	937,847	1,123,779
短期借入金	—	16,800
1年内償還予定の社債	—	33,000
1年内返済予定の長期借入金	49,200	148,200
未払法人税等	44,985	34,318
賞与引当金	—	9,000
リース債務	571	594
その他	82,658	96,641
流動負債合計	1,115,262	1,462,335
固定負債		
社債	—	67,000
長期借入金	62,200	162,800
リース債務	1,381	932
退職給付引当金	290,024	287,544
役員退職慰労引当金	1,750	8,117
その他	19,983	19,129
固定負債合計	375,339	545,524
負債合計	1,490,601	2,007,859
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,700	1,910,700
資本剰余金	88,604	88,604
利益剰余金	179,260	235,698
自己株式	△208	△208
株主資本合計	2,178,357	2,234,794
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,389	△8,397
その他の包括利益累計額合計	△4,389	△8,397
純資産合計	2,173,967	2,226,396
負債純資産合計	3,664,569	4,234,256

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	6,836,410	6,939,432
売上原価	4,961,448	5,046,636
売上総利益	1,874,962	1,892,796
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	922,277	835,211
賞与引当金繰入額	—	9,000
役員退職慰労引当金繰入額	—	6,367
賞与	—	37,537
その他	1,010,683	946,056
販売費及び一般管理費合計	1,932,961	1,834,173
営業利益又は営業損失(△)	△57,999	58,623
営業外収益		
受取利息	2,627	1,013
仕入割引	22,325	32,864
その他	15,686	8,380
営業外収益合計	40,639	42,259
営業外費用		
支払利息	2,883	5,158
手形売却損	6,206	4,144
株式交付費償却	1,450	—
社債発行費償却	—	1,959
その他	1,756	2,239
営業外費用合計	12,297	13,502
経常利益又は経常損失(△)	△29,656	87,380
特別利益		
退職給付制度改定益	142,190	—
その他	1,252	—
特別利益合計	143,442	—
特別損失		
固定資産除却損	292	623
固定資産売却損	13,660	—
投資有価証券評価損	585	—
事業譲渡損	20,321	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12,028	—
特別損失合計	46,887	623
税金等調整前四半期純利益	66,898	86,756
法人税、住民税及び事業税	31,093	30,318
法人税等合計	31,093	30,318
少数株主損益調整前四半期純利益	35,804	56,437
四半期純利益	35,804	56,437

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	35,804	56,437
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	138	△4,008
その他の包括利益合計	138	△4,008
四半期包括利益	35,942	52,429
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,942	52,429
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	66,898	86,756
減価償却費	23,124	17,489
事業譲渡損益 (△は益)	20,321	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	11,607	—
差入保証金償却額	—	610
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,311	△787
賞与引当金の増減額 (△は減少)	19,026	9,000
社債発行費償却	—	1,959
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△149,019	△2,479
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	6,367
受取利息及び受取配当金	△2,746	△1,135
支払利息	2,883	5,158
固定資産売却損益 (△は益)	13,660	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	585	—
固定資産除却損	292	623
新株発行費償却	1,450	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△165,774	△331,062
たな卸資産の増減額 (△は増加)	73,228	85,715
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	28,296	13,336
差入保証金の増減額 (△は増加)	△20,849	△1,698
仕入債務の増減額 (△は減少)	107,540	188,381
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	4,597	△3,521
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△7,839	21,497
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△2,131	500
その他	36,526	1,838
小計	57,365	98,549
利息及び配当金の受取額	1,398	1,975
利息の支払額	△3,552	△6,386
法人税等の支払額	△44,269	△41,485
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,941	52,652

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,852	△1,848
有形固定資産の売却による収入	131,117	—
無形固定資産の取得による支出	—	△92,595
投資有価証券の売却による収入	1,000	—
貸付けによる支出	—	△3,500
貸付金の回収による収入	1,079	1,550
差入保証金の差入による支出	△3,255	△951
差入保証金の回収による収入	38,187	6,095
出資金の売却による収入	—	200
保険積立金の積立による支出	△9,615	△18,662
保険積立金の解約による収入	3,640	—
その他	△2,520	736
投資活動によるキャッシュ・フロー	153,782	△108,974
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△80,000	16,800
長期借入れによる収入	—	250,000
長期借入金の返済による支出	△36,900	△50,400
社債の発行による収入	—	98,040
株式の発行による収入	68,549	—
その他	△458	△425
財務活動によるキャッシュ・フロー	△48,808	314,014
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	115,915	257,692
現金及び現金同等物の期首残高	410,459	665,032
現金及び現金同等物の四半期末残高	526,374	922,725

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、カーケア関連商品販売を主たる事業としており、「自動車補修部品」「自動車ケミカル」「サービスステーション備品」等の「カーケア関連商品販売」と「看板・チラシ等の販促物の企画・製作」「保険・旅行の代理業務」等の「その他」を報告セグメントとしております。

なお、前連結会計年度のセグメント区分から変更はありません。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	カーケア関連 商品販売	その他	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	6,677,797	158,613	6,836,410	-	6,836,410
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,479	93,184	94,664	(94,664)	-
計	6,679,277	251,798	6,931,075	(94,664)	6,836,410
セグメント損失	50,437	11,899	62,337	4,338	57,999

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成21年3月27日）を適用しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	カーケア関連 商品販売	その他	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	6,818,359	121,073	6,939,432	-	6,939,432
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	47	108,421	108,469	(108,469)	-
計	6,818,407	229,499	7,047,902	(108,469)	6,939,432
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	59,866	△ 3,107	56,759	1,864	58,623

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。